



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.545

'16. 2. 1

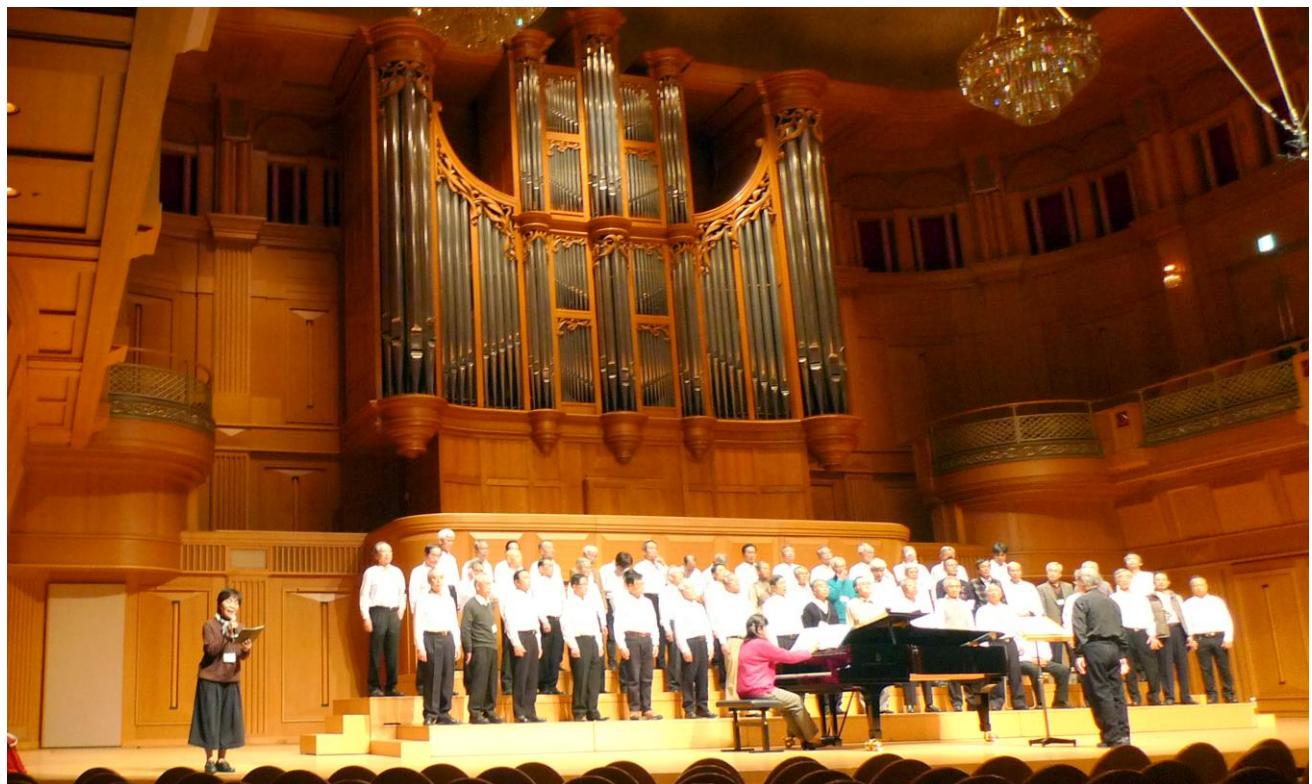
10thコンサート大成功！

1月30日

お礼の言葉・他

□1月30日いすみホールで昂第10回コンサートを開きました。全席指定が約2ヶ月に売り切れ、本当にうれしい悲鳴でした。1年数か月かけて取り組み、また「地底のうた」「人間のうた」「歓びのナーダム」は特別団員の応援を得て約60名での大迫力ある演奏になりました。この15年間歌ってきたベストアルバムの数々も思いを込めて歌うことができました。布川事件の桜井昌司さん作曲の「ゆらゆら春」はご本人にもご来場いただき、打ち上げまで参加され、合唱で歌う素晴らしさを語っていただきました。今回初の「初心のうた」を演奏会のテーマとし、「国と人の仕組みを突き止め、歯車を巻き直そう！」と、「死んだ男の残したものは」、「なぜ」、「ねがい」、「降りつむ」、「街を返せ」など平和への思いを大切に歌いました。140名を超える方々のアンケートもいただき「昂はまた進化したね」との励みの言葉もありました。平均年齢は70歳を超える熟年合唱団です。これからは若い仲間も増やし、元気に歌い続けたいと思います。

男声合唱団「昂」一同（文・昂HPより転載）



リハーサル風景（本番写真は次号で）

□指揮は本並先生と伊藤副指揮者、ピアノは森二三さんと近藤静さん、司会は林久美子さんで進みました。ソロの、乾正明、奥村勝美、富樫龍一、千秋昌弘、伊藤知、古谷敏郎各氏と多彩なメンバーを含めて団員は38名、特別団員は16名の参加（3曲）で、アンコール曲を含め全20曲を暗譜で歌い切りました。

□「特別団員」のみなさん、おかげさまで迫力ある熱気のステージを届けることが出来ました。いつもこれくらいの人数で歌いたいものだと痛感しました。ぜひ今後も昂を助けてください。

□司会の林久美子さん、親しみのある美声の司会で盛り上げて頂きました。舞台監督の溝口さん、滞りなくステージを進め、時間より早く終演にこぎつけて頂きました。ありがとうございました。



□受付担当を引き受けた吉本さんと佐藤さん、おかげさまでトラブルなくコンサートが打ちあがりました。ありがとうございました。

□チケット担当の山本力さん、完璧なチケット管理をして頂き、おかげさまでチケットは嬉しい悲鳴の完売、さらに、当日の臨時券の発行から全部の入金にいたるまで緻密な、大変なご努力をしていただきありがとうございました



□当日の天気予報は雨もよい気がありましたが、開演時まえから傘のいらない天気となり、コンサートの成功に味方してくれました。

□多数いただいたアンケートは、吉川さんが、伊藤さん、吉田さんの協力を得て印刷用に編集中で、改めて、「アンケート集」が発行、配布される予定です。お楽しみに。

□盛り上がった「打ち上げ」の写真集は次号で！

直前のゲネプロを行いました

1月29日

□本番を明日に控えた1月29日（金）は定例レッスンの日でしたが、団員曲の直前のゲネプロを行いました。指揮は本並先生と伊藤さん、ピアノは森さんで、参加は特団員1名を加えて全32名でした。暗譜を確認しながら全曲を通しました。